

令和元年駒ヶ根市教育委員会第8回定例会

令和元年7月30日(火) 午後2時
駒ヶ根市役所南庁舎2階 大会議室

1 開 会 午後 時 分

2 前回会議録承認

3 教育長報告 . . . P 1

4 事業報告及び事業計画 . . . P 3

- ・総合教育会議 8月 8日(木) 16時～ 本庁舎2階 大会議室
- ・市町村教委と県教委との懇談会 8月 9日(金) 13時30分～ 諏訪合同庁舎
- ・次回定例教育委員会 8月27日(火) 14時～ 保健センター2階 大会議室

5 審議案件

6 協議事項

(1) 第2回総合教育会議について . . . 別紙

7 報告事項

(1) 行事共催等承認申請の専決処分について . . . P 5

8 その他

(1) 駒ヶ根市青少年育成委員会の概要について . . . P 6

(2) 第2次駒ヶ根市教育振興基本計画の策定について

9 閉 会 午後 時 分

匙なめて 童たのしも 夏氷(山口誓子)



【意味】暑い夏の日、子どもたちがかき氷を食べている。丁寧にスプーンをなめながら、冷たさと甘さを味わっている。

子どものときの経験が私たちにも思い出されます。なぜかスプーンをきれいになめていたことを思い出します。スプーン自体が冷たかったからでしょうか。イチゴや小豆の味がしなくなった氷をスプーンですくうと甘くなるとでも思っていたのでしょうか。急いで食べた後のキーンとした頭の痛さが今も忘れられません。

◆諸会合等の報告 特になし

◆駒ヶ根市小学生子ども相撲大会を観戦して

7/13(土)に標記大会が開催された。あいにくの雨で菅の台の土俵コンディションが悪かったため、市民体育館での開催となった。小学校低・中・高学年男女別の個人戦や高学年の学校対抗団体戦が行われた。

観戦していて面白いことに気がついた。女子の相撲へ臨み方である。一般的に男子より力が弱い女子だが、真っ向から力対力の対決をしていたのである。足を掛ける、引く、体を入れ替える等ということは殆どない。男子はいろいろ技を試していた。

もう一つ。対決して負けた9割以上の女子が、挨拶を終えた後、わんわん泣いていたことである。低学年も高学年も皆そうである。勝てる(?)と思っていたのだろうか、悔し涙を出し続けていたことである。男は、あっけらかんとしていた。負けた子は、「ま、仕方ないか」という表情をしていた。サバサバしていたと言っているだろう。

男女でこうも勝敗に対する入れ込み方が異なる理由は分らないが、小さな大人を見ているようでなかなか面白かった。女子の方がどちらかというと、目先の結果を気にするのかもしれない。

ここからどのように脱皮して次の段階に入って いくのか、楽しみである。



《ちょっと立ち止まって》「内から育つ」姿を求めて※最近の教育関係の様子、新聞、駒ヶ根の子どもの様子、資料 中村元(仏教学者)

- 私たちも人と向き合うときには、相手を知り、相手も気持ちを慮ることが大事。
- 相手を知るということは、自分自身を知ることでもある。目の前の相手というのは、必ず自分と違うものを持っているから、そこを意識することで、自分自身も見えてくる。
- 相手といかに一体になるか。人を喜ばせることが自分の喜びであり、人をよくすることが自分をよくすることだというのを、どうしても若い人に伝えていきたい。

◆中学生 (選択型) 西駒ヶ岳登山 無事終了!!

★ まずご来光を見ました。すごく寒くて眠くて、鼻がムズムズしている中だったけど、すごくきれいで感動しました。

下山はロープウェイなので、千畳敷を下っていきました。落石もあると言われたので、注意しながら下りました。ロープウェイは、初めて乗りましたが、ところどころ速くなるときがジェットコースターみたいで楽しかったです。

イヤだと思っていた登山はめっちゃ楽しかったです。

★ 7月18日、登山二日目を迎えました。霧が濃かったので、ご来光は山荘で見ました。たまに霧が晴れて、きれいなオレンジの朝焼けが見られたのでよかったです。

僕は歩き下山だったので「やるからには、やってやろうじゃんか!」と思いました。美味しい朝食を食べて、さあ、出発!

霧の間に見える広大なパノラマを見つつ、西駒山荘周辺まで、普通に行けました。ただ、そこからが大変でした。森林で急に雨が降ってきました。カップを着ているから暑いし、下りで足が痛くなってくるので疲れるし、ザックカバーをつけているので、小休止に行動食を食べるのも大変でした。こういう状態で、「ロープ下山を選んでおけば良かった……」と思ったりもしました。

そんな中で、待ちに待った昼食。苦労した後だったから、何個でもいいけそうなほど美味しかったです。その後、疲れを塩キャラメルで紛らわしながら歩いて行きました。

でも、やっぱり下りのせいで足が痛くなり、ラストスパートの数十分がとても長く感じられて、桂小場のバスが見えたとき、嬉しくてほっとしました。

「苦労すると、その分喜びも大きくなる」ということがよく学べた気がしました。この学びを日常で生かしていきたいです。

駒ヶ根市内の中学校は、両校とも登山を継続しています。赤中は「選択型登山」、東中は「ロープウェイ下山」と、道程が多少異なりますが、今年も無事踏破しました。上記の作文は、赤中の生徒です。どちらも結果的に満足した気持ちが表れていますが、過程に違いがあります。今後の成長にどのようにこの経験が生きてくるのか楽しみです。

◆諸悪莫作 衆善奉行

諸悪莫作 衆善奉行

古い禅の話

中国の鳥窠道林という禅僧は、いつも木の上で修行をしていた。あるとき、詩人の白樂天が訪れた。木の上で修行している禅師を見て、「危ないぞ、危ないぞ」と言った。すると木の上の禅師は、「あなたの方こそ危ないぞ」と応えた。



白「私は地上にいて地面に足を付けている。また私は今高い位もいただいて社会的地位もあるし、それに財産もある。この私の何が危ないのか」

道「薪を積んでいるすぐ側に火があるようなものだ、いつ燃え出すか分からない。あなたの心も同じだ。いつ燃え出すか分からない。お前さんの方が危ないぞ」

禅師から危ないとたしなめられた白樂天は、襟を正して

白「それでは、仏法の極意をお聞かせいただきたい」

道「諸悪莫作 衆善奉行」(諸の悪を作すこと莫く 衆の禅を奉行し、自ら其の意を淨くす。是れ諸仏の教えなり) ※意味: 悪いことはしないように、善いことを行い、自らの心を淨めることが諸仏の教えである。

白「そんなことは三歳の童子でも知っている」

道「三歳の童子でも知っているかもしれないが、八十の老翁でも行うことは難しい」

人である限りは、悪いことも行ってしまうこともあるし、善きことと分かっているも行い難いこともある。しかし、小さいことでも、少しでも、努力してゆこうと心に常に怠ることが大切。

7月分 教育委員会事務事業計画

2019年7月26日

曜日	時刻	事業内容	摘要
1 月	10:30	市政施行65周年記念式典[大会議室]	教育長、次長、両課長ほか
	13:30	庁議[応接室]	教育長、次長
	14:15	部課長会[本庁大会議室]	教育長、次長、両課長
2 火	13:00	上伊那市町村教育委員会連絡協議会[中川村]	教育長、次長、子ども課
3 水	9:30	校長会[赤穂南小]	教育長、次長、両課長
	10:00	諏訪・上伊那社会教育委員連絡協議会総会[宮田村]	社会教育課
	13:30	園長会[保健センター第1会議室]	子ども課
4 木	17:40	教職員組合定期大会[赤中]	教育長
5 金			
6 土		ふれあいキャンプ(第1次) ~7日	社会教育課
	9:25	信濃教育会総集会上伊那大会[文化センター]	教育長
7 日			
8 月	10:00	上伊那社会保障推進協議会との懇談[南庁舎大会議室]	子ども課
	15:00	食育懇話会[保健センター大会議室]	教育長、次長、子ども課
9 火	9:00	庁議[応接室]	教育長、次長
	10:00	市議会行政視察[岐阜県海津市]	子ども課
	18:30	第2回市民総体実行委員会[保健センター大会議室]	次長、社会教育課
10 水	9:15	決算審査[第5会議室]	次長、両課課長、係長
	13:00	市町村教委連絡会 代議員会及び県教委との懇談会[長野市]	教育長代理
11 木		青少年補導活動推進大会[佐久平交流センター]	社会教育課
		かほく市訪問 ~12日	次長
12 金	14:00	アンサンブル信州in宮田[文化センター]	
13 土		小学校相撲大会	教育長
		Jrリーダーキャンプ ~15日	社会教育課
14 日			
15 月			
16 火	9:00	庁議[応接室]	教育長、次長
	10:00	上伊那保健福祉担当課長会議[いなっせ]	子ども課長
	16:00	上伊那口腔保健センター事業連絡会[いなっせ]	子ども課長
17 水	13:00	光前寺整備検討委員会[光前寺]	社会教育課
	19:00	文化財団利用者懇談会[文化センター]	社会教育課
18 木	19:00	郷土芸能まつり実行委員会[文化センター]	社会教育課
19 金			
20 土			
21 日		参議院選挙	
22 月	9:00	庁議[応接室]	教育長、次長
		19市保育所主管課長会議[小諸市]	子ども課
23 火	14:00	南部市町村教委連絡会総会[中川村]	教育長、次長
	9:30	上伊那地区協議会[伊那市]	教育長、子ども課長
	18:00	広島慰霊式訪問事前学習会	教育長
24 水	15:00	文化財団理事会[文化センター]	教育長、次長、社会教育課
	18:30	町2区市政懇談会[ふれあいセンター]	次長
25 木	10:00	県都市教育長協議会(当番市)[アイパル]	教育長、次長、子ども課
26 金	13:30	部課長会[本庁大会議室]	教育長、次長、両課長
	15:00	子ども・子育て会議[南庁舎大会議室]	教育長、次長、子ども課
27 土		KOMA夏	
28 日	7:30	市民総合体育大会[市営グラウンド]	教育長、次長、社会教育課
29 月	9:00	庁議[応接室]	教育長、次長
	14:15	教職員夏期研修会[アイパル]	全教育委員、教育長、次長、子ども課
	18:30	赤公・勤青・女性館役員合同検討会[赤穂公民館]	社会教育課
30 火	14:00	定例教育委員会[本庁大会議室]	教育長、次長、両課長
		臨時教育委員会	教育長、次長、両課長
31 水	8:30	親子工場見学[本庁大会議室]	教育長
	13:30	国体準備委員会第3回総会[長野市]	社会教育課長

8月分 教育委員会事務事業計画

2019年7月26日

	曜日	時刻	事業内容	摘要
1	木			
2	金	13:30	園長会[保健センター第1会議室]	
		14:10	民児協定例会[南庁舎大会議室]	子ども課長
3	土		交通安全暴力追放市民大会	
4	日	9:00	小町屋区ふれあい広場[小町屋きらめき公園]	教育長
5	月		広島市原爆死没者慰霊式・平和記念式[広島市] ~6日	教育長
		18:30	ハーフマラソン実行委員会[南庁舎大会議室]	社会教育課
6	火			
7	水	9:00	外国語夏の研修会[赤穂南小]	子ども課
8	木	14:00	伊南地域の高校の将来像を考える協議会[本庁大会議室]	教育長、次長、子ども課長
		16:00	総合教育会議[本庁大会議室]	教育長、次長、両課長
9	金	13:30	市町村教委と県教委懇談会[諏訪合庁]	教育長、教育長代理
10	土			
11	日			
12	月			
13	火			
14	水			
15	木	10:00	成人式[文化センター]	教育長、次長、社会教育課
16	金			
17	土			
18	日			
19	月	9:00	庁議[応接室]	
		13:30	部課長会[]	
20	火	19:00	駒ヶ根高原音楽祭[文化センター]	
21	水			
22	木			
23	金			
24	土		天竜かっぱ祭り	
25	日		地震総合防災訓練	理事者、全職員
26	月	14:00	伊那養護学校PTAとの懇談会[本庁大会議室]	教育長、次長、子ども課
27	火	10:00	上伊那市町村教育委員会連絡会[伊那合庁]	教育長、教育長代理
		14:00	定例教育委員会[保健センター大会議室]	教育長、次長、両課長
28	水			
29	木			
30	金	9:15	県小学校長研究協議会上伊那大会[文化センター]	教育長
31	土		赤穂中学校運動会	教育長
		12:00	日本3B体操協会第12回長野県大会[市民体育館]	次長

「駒ヶ根市青少年育成委員会・育成センター」概要

- 1 設 置 昭和50年7月1日（今年度44年目）
- 2 目的・活動 青少年の健全育成及び補導に関すること
- 3 青少年育成委員構成
全34名：各区から委員を推薦いただき、教育委員会に諮って決定し委嘱
（区により1～4名、選出方法は区に一任）
- 4 任 期
（1）在任期間：1期2年（継続は区の意向により、再任は妨げない。）
（2）今期任期：平成30年4月1日～平成32年（令和2年）3月31日（第22期）
- 5 主な活動内容
（1）地区子ども会（小学校1年生～中学校3年生の全員が会員）
・区育成会会長である区長とともに区の子ども会を主幹する。
・区育成会関係団体（小中PTA郊外指導部・分館等）の取りまとめを行い、育成事業を推進する。
（2）補導活動
・全委員が「巡回補導活動」を行う。
・委員を6班に分けて各班順番に行う。
・前年度平均月2回：駅前・大型店舗・公園・ゲームコーナー・書店・ビデオ店等
（3）研修会・講習会
・委員研修会（育成強調月間の7月、11月）、警察補導講習会、青少年健全育成県民大会、安全教育研修会（前年度：安全教育についてなど）、上伊那青少年育成協議会研修会等への参加
（4）育成・啓発活動
・地区育成会だよりの発行 ・街頭啓発活動（高校・大型店舗）
・情報発信：市育成だより、まなびい、CATV
（5）その他
・区内の環境チェック活動（店舗、自動販売機の有害環境調査）
- 6 報 酬
年間基本額4,200円に、1回の活動につき1,400円を加えて年度末にまとめて支給
- 7 その他
（1）事務局：教育委員会 社会教育課 生涯学習係（事務所：保健センター1階）
TEL：83-2111（内線721、722） FAX：83-2181
（2）活動保険：市民活動総合補償制度に加入（市が加入しています。）
（3）「青少年育成センター（補導センター）」を教育委員会内に設置（所長：社会教育課長）
（4）育成と補導を分けて、二つの委員会を設置している市もあるが、当市は両方を行う。

5

卷(一)

承認	7 件
不承認	0 件
協議中	0 件
	7 件

平成31年度（令和元年度）

「駒ヶ根市青少年育成委員会年間事業計画」

（※太字は全委員対象の事業）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
事業・研修会・大会等	育成委員会 総会	○前期 18（木）										○後期 8（土）		2回開催
	委員研修会				○1（月） 強調月間				○7（木） 強調月間					担当：研修部
	役員会・部会													随時開催
	市内巡回補導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各班ごと実施
	育成会だより＜市報＞	○			○				○		○		○	各地区随時発行 ＜広報部＞
	地区子ども会		○総会 22（水）									○発表会 8（土）		総会 全地区一斉
	強調月間街頭啓発活動				○1（月） 2高校予定				○1（金） 店舗予定					啓発物配布 ＜正副・育成部＞
	強調月間チェック活動					○								区内有害環境 チェック
	伊南社会を明るくする運動 青少年健全育成推進大会				○ 6（土）									会場：飯島町
	上伊那青少年育成連絡 協議会研修会			○協議会 5（水）									○協議会 上旬	
	県補導委員会（会長） 青少年補導センター（課長）		○ 理事会	合同理事 会	補導推進大会 （補導部）									
	青少年健全育成県民大会	（信州あい さつ運動）							○ 県民大会					場所：未定 ＜補導部＞
	市こどもまつり（子ども課）	○ 27（土）												文化センター すずらん公園
	ジュニアリーダー研修会			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	講師 駒ヶ根VYS会
	上伊那安全教育研修会						○7日（土） （研修部）							
	市子育て講演会（子ども課）													

平成31年度（令和元年度） 駒ヶ根市青少年育成委員会「班及び専門部の編成」

部 会	班	選出地区	育 成 委 員 名 () 在任年数			
補導部 (17名)	1	町 1	小林 諭	(2)	宮澤 有花	(1)
		町 3	松崎 茂	(4)	雨澤 隆明	(4)
		中 沢	竹村 定男	(6)	宮脇 三広	(2)
	2	北割 1	齋藤 真一	(2)	金田 朗子	(1)
		上穂町	倉田 昌伸	(2)	小池 美穂	(1)
		東伊那	宮脇 深志	(2)		
	3	上赤須	原 克彦	(2)	吉瀬 とよ子	(2)
		市場割	竹村 茂	(2)	気賀澤 智徳	(1)
		下 平	浅井 和彦	(2)	中原 誠志	(2)
育成部 (6名)	4	南 割	尾形 和子	(3)	代田 卓生	(2)
		中 割	筒井 貞子	(4)	杉山 哲也	(2)
		小町屋	松井 良文	(2)	山岸 弘子	(1)
広報部 (6名)	5	福 岡	渋谷 博光	(8)	松原 博人	(1)
			成瀬 かおり	(2)	古樫 紀子	(2)
		町 4	熊谷 篤司	(6)	金山 久美子	(1)
研修部 (5名)	6	北割 2	木下 岳士	(2)	神林 美幸	(1)
		町 2	鈴木 博志	(1)	栗村 尚明	(1)
			大島 伸也	(1)		

事 務 局 (教育委員会)	教育長	本多 俊夫
	教育次長	北澤 英二
	社会教育課長	入谷 吉博（青少年育成センター所長）
	生涯学習係長	宮下 るみ
	生涯学習係	宮澤 秀一、埴橋 あゆみ

駒ヶ根市教育委員会 社会教育課 生涯学習係

TEL：83-2111（内線721、722）

FAX：83-2181

mailto:syougai@city.komagane.nagano.jp

部会別の活動内容

部 会	今 年 度 計 画
補導部 (1～3班)	(1) 市内巡回要注意箇所についての検討・対策 (育成日誌より問題点検討) (2) 子どもまつり(4月27日)巡回
育成部 (4班)	(1) 強調月間中の啓発活動 7月：赤穂高・駒工高、11月：大型店舗店頭 (上伊那青少協・保護司会等と共同で実施) (2) 子どもの手による子ども会活動の推進、集会所合宿についての情報交換 (3) 地区育成会だより発行の推進
広報部 (5班)	(1) 市民への啓発活動 (2) 「市報・まなびい」による「青少年育成委員会だより」発行 4月号(地区子ども会活動発表会)、 〔以下予定〕7月号(育成委員会名簿)、11月号(地区活動)、 1月号(11月研修会)、3月号(県アンケート) (3) CATV等による情報発信
研修部 (6班)	(1) 委員研修会の開催 ・7月 青少年の非行・被害防止強調月間 ・11月 子ども・若者育成支援強調月間 (2) 下記研修会への参加 ・上伊那青少年育成連絡協議会安全教育研修会 ・県子ども会育成連絡会 ・その他出席要請のある研修会

平成31年度（令和元年）「駒ヶ根市青少年育成活動の方向」

基本目標	推進施策	活動目標・内容		平成31年度（令和元年度）の活動予定
地域で活動する青少年の育成	(1) 青少年の交流体験活動・育成活動の推進	・地区子ども会での実質的な活動（地域に即した子ども会の活動）	・小中学生の連携 ・奉仕活動（河川清掃等） ・体験活動（遊び・炊事・農作物づくり体験等） ・学校、地域、保護者、分館等との連携 ・事業に見合った地区予算の確保	・地域の一員として地域行事への参加を促進（防災訓練、救急救命訓練、認知症サポーター研修、河川清掃参加等） ・小中学校 PTA 校外指導部（地区 PTA）、分館等の地域育成団体との連携強化 ・活動発表会
		・委員会全体の活動	・研修会開催 ・地区交付金の確保	・委員研修会開催（育成強調月間の7・11月に予定） ・青少年健全育成県民大会、市子育て講演会等の育成大会への参加 ・県子ども会育成連絡協議会へ参加 ・青少年サポーターとの連携
		・子ども未来委員会の発足に向けた取り組み	・子ども未来委員会の発足に向けた取り組み	・子どものネット被害についての講演会（情報モラルに関する講演会）
		・指導者の育成	・県育成指導者研修会 ・シニアリーダーの養成と研修 ・ジュニアリーダー研修会への参加児童促進	・アルプスふれあいキャンプ（地域の協力を得ながら継続実施）（一次／駒ヶ根キャンプセンター、二次／戸倉山キャンプ場） ・ジュニアリーダーの養成と参加者の活躍の場づくり（ジュニアリーダー研修会への参加促進）
	(2) 明るく確かな家庭づくりの推進	・食を通しての心のふれあい	・手作り食事、家族全員での食事の勧め ・郷土料理の子どもへの伝承 ・公民館、女性ふれあい館、分館料理教室等へ体験参加	・食を通じた豊かな体験活動の推進（農作物づくり等） ・小中学校弁当の日（子ども課所管） ・こまがね子育て10か条「早寝 早起き 家族で愛の朝ごはん」の推進
	(3) 健全な社会環境づくりの推進	・巡回補導	・年間を通しての巡回補導の実施 ・要注意箇所の確認 ・少年警察ボランティア協会等他団体との連携	・市内巡回補導活動の継続実施及び有効な補導活動の検討（時期・回数・他団体との連携） ・警察（少年警察ボランティア協会）、店舗との連携強化
		・環境チェック活動	・強調月間中のチェック活動実施（有害自販機に土地を貸さない、置かせない） ・自治組合等他団体との連携 ・国、県、近隣市町村育成会との連携	・各地区チェック活動及び有害自働販売機未設置状態の継続 ・警察、区等、関係団体との連携強化 ・店舗、区への協力を継続して依頼
		・非行防止活動の推進	・街頭啓発活動 ・各学校、地域単位での啓発活動 ・各育成、補導組織との連携	・大型店、高校での啓発活動の継続（7・11月予定、上伊那地域で一斉に実施） ・区長会、PTA、地域の会合等での市民への啓発を強化 ・学校、家庭、地域、警察、店舗との連携強化
		・メディアを活用した啓発活動	・広報啓発活動の実施	・広報啓発活動の継続実施（市育成会だより、まなびい、CATV等）
	(4) 子ども会育成推進体制の整備	・各地区育成会組織の確立整備	・区、PTA 校外指導部との連携強化 ・他市町村育成会との連携（特に上伊那地域）	・先進地区を参考に検討 ・近隣市町村育成会との連携、情報交換（上伊那青少年育成会連絡協議会）
	(5) その他			・メディア漬け防止、ノーメディアデー、家庭読書の日との連携 ・パソコン、携帯電話の有害サイトへの対応